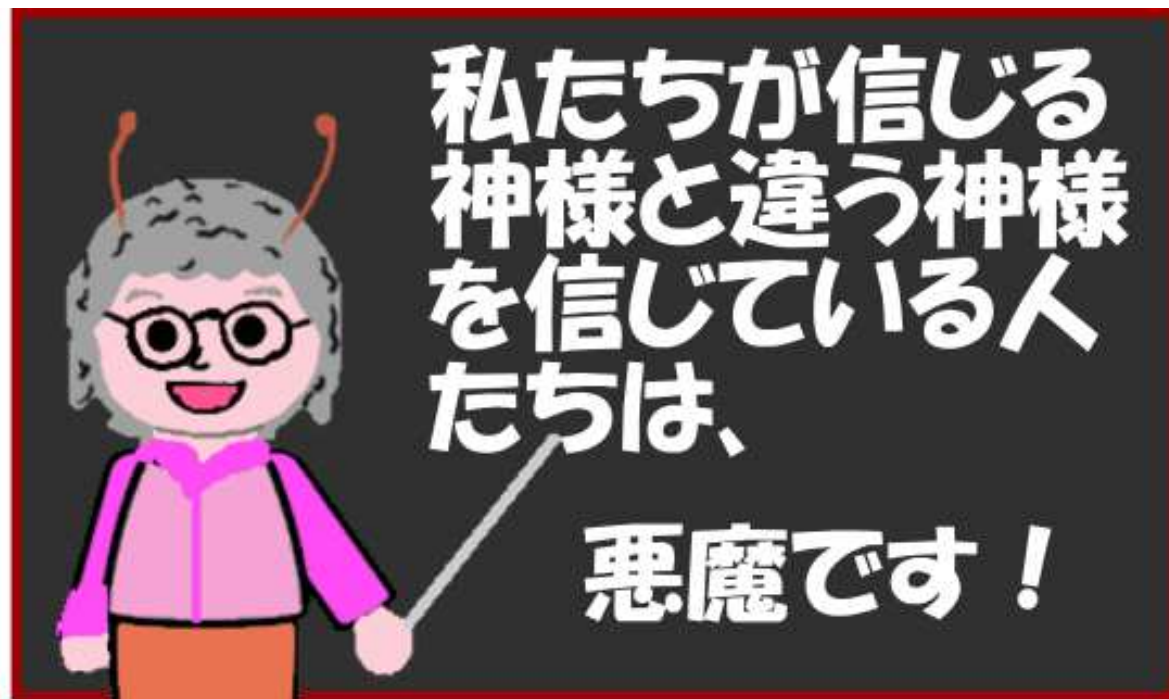


# 差別と現実逃避



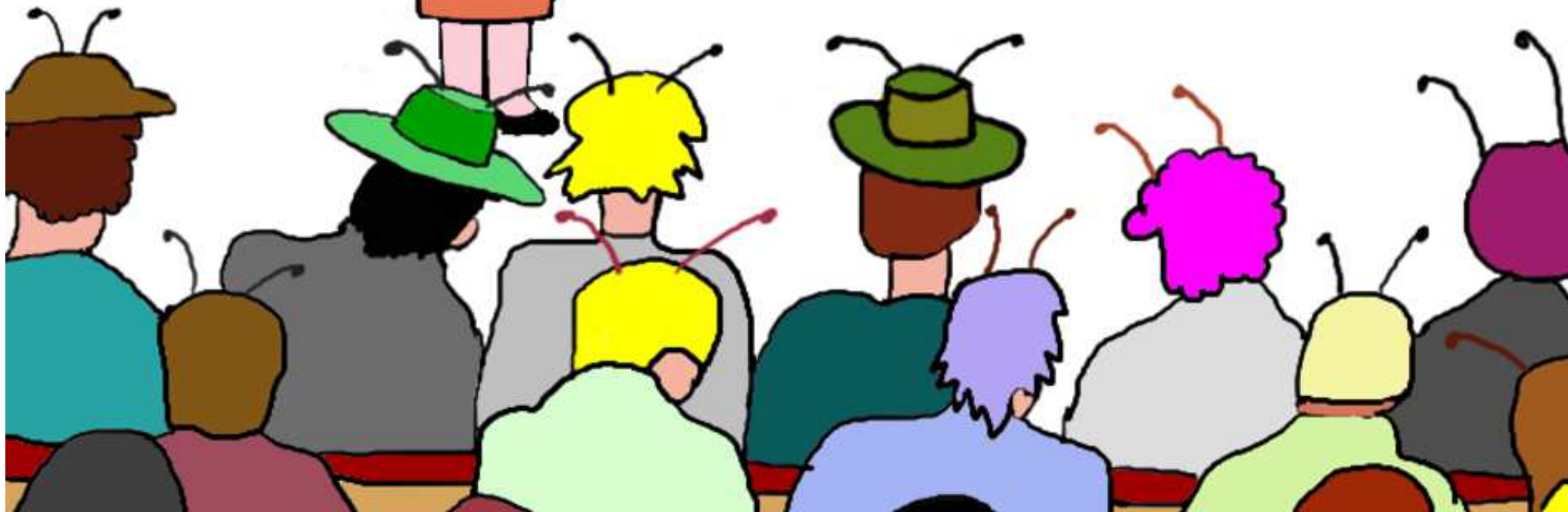
東郷 潤

**「異教徒は悪魔だ」と教えている、  
遠い宇宙のある星のお話です。**



私たちが信じる  
神様と違う神様  
を信じている人  
たちは、

悪魔です！



ある日彼らは初対面の異民族を悪魔だと誤解し殺してしまいました。…  
けれども一時の熱狂が覚めると、犠牲者が悪魔などでは無いと彼らはすぐに気づきました。だって本物の悪魔にしては弱すぎますもの。

悪魔どもめ。死ねば  
何も出来ねえだろう！



あれれ？ もう  
死んじやったよ

さてさて困りましたね。悪魔をやっつければ大満足かもしれませんが、意味もなく人を殺せばとても嫌な気持ちになるものです。

ええ！？ もしかしてこれは  
俺たちへの贈り物だったのか！？



その上、もし彼らが一殺しを悪いことだと思っていれば、彼らは悪いことをしたことになると思います。彼らが地獄を信じていれば、地獄に落ちると思うかも・・・



大変なことを  
してしまいました！

僕らは悪人に  
なってしまった！

僕らは  
人殺しだ！



さて現実がととても辛い時、人は現実逃避をすることがありますね。それは個人に限るものではありません。複数の人々が協力し想像を作り上げ、それを現実だと思い込み、本物の現実を否定することもあるのです。

俺たちは人殺し  
なんかじゃない!

だって○○  
なんだから!

違う!



この〇〇に、彼らが作った「想像」  
が入ります。

〇〇はただの想像なので、多種多様  
なものとなりえます。たとえば次の  
ようなものかもしれません。



だって、  
世界征服は明白な神の意志  
なんだから！

だって、  
奴らは悪人

なんだから



〔注〕 読者の中には、「イエスは神の子であると

の信仰を持つ者でなければ、いったいだれが世を征服する者でしょうか。(ヨハネ第一 5:5)」といった聖書の教えを連想される方もいらっしゃるかも知れませんが、無関係です。

だって、  
奴らは人間じゃない、ただの動物  
なんだから！



だって、  
奴らは劣等人種  
なんだから！

**だって、  
野蛮人の文明化に多少の犠牲は当然  
なんだから！**



**だって、  
この世は弱肉強食。弱い奴は滅びる運命  
なんだから！**



**人間には無限の想像力があるので、  
いくらでも想像を作り出すことができ  
ますね。こうして作った想像を駆  
使して、●自分たちの行為を正当化  
し●本物の現実を否定するのです。**

いやあ、幸運にも誰もいない大きな  
土地を手に入れることが出来たよ



あ、あいつらはただ  
の猿だから



**さて、人は認識に基づき行動します。**

風呂に  
入ろう



水を飲み  
ましょう



平らなところ  
を歩こう



**もし想像を現実だと錯覚すれば、それ以降、その人はその誤った認識に基づいて行動するでしょう。**

ジャブーン!



ごくごく



ぎゃーっ!



もし、他民族という人間をただの動物だと想像し／錯覚し／信じたなら、その後ももちろん、その誤った認識に基づいて行動することとなります。その認識が変わらなければ、ずっと・・・

**つまり、差別が固定化します。**



猿のくせに、  
人間に逆らうな！

キャ～！！



## あとがき ー絵本「差別と現実逃避」

本絵本は差別をテーマとする絵本集の1作品です。

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、ぜひ他の方にもご紹介いただきたくお願い致します。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。また下記WEBからは、東郷潤の他

の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

**[www.j15.org](http://www.j15.org)**

©Jun Togo 2013